第６学年　外国語学習指導案

１　単元名「小学校の思い出のアルバムを紹介し合おう」
（New Horizon Elementary 6 Unit7 My best memory）

２　単元の目標
・過去形や行事の言い方を使って，小学校生活の思い出について話したり，聞いて理解したりすることができる。　（知識・技能）
・相手の伝えたいことを理解し，簡単なあいづちを打ったり，例文を参考にした返信を書いたりすることができる。（思考力・判断力・表現力）
・聞いている人や読んでくれる人に伝わるように工夫して話したり書いたりしようとしている。
（学びに向かう力，人間性等）

３　単元の評価基準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
過去形や行事の言い方を使って尋ねたり伝え合ったりする活動を通して十分に慣れ親しみ，小学校生活の思い出について話したり，例文を参考に書いたりすることができる。	相手の話を聞いたり，相手が書いた文章を読んだりする活動を通して，簡単なあいづちを打ったり，例文を参考に返信を書いたりすることができる。	相手に伝わりやすいように話す内容を精査したり，例文を参考に読みやすい文章を書いたりすることができる。

４　単元と指導の構想
（１）単元と児童
本単元では，New Horizon Elementary 6 “My best memory”を扱う。本単元は，小学校生活の思い出を振り返る内容からも児童のアイディアを生かしやすく，またそれに伴いそれぞれが異なった体験や思いを持つことからも「お互いに伝え合う」必要感を高めやすい単元である。また，Unit4 で扱った「過去形の表現」を再度活用できることからも，ある程度の技能・知識を持った状態で単元の学習に取り組むことができる。
そこで本単元では，行事名などの新しい言語材料を取り入れつつも，反復して口頭での会話練習を通して表現に慣れさせるとともに，「別な学校の児童に自分の思い出を書いて伝える」「相手の書いた文を読み取り，簡単な返信を書く」というところまで発展させたい。
本学級の児童は，おおむね外国語の学習に前向きであり，今までできなかったことができるようになることに達成感を感じながら学習を進めている。コミュニケーションにも前向きで，より内容を濃く，より英語らしく話そうとする児童が多い。今回は教師や友達とは異なる「離れた相手」に，しかも「文字」で伝えることを目標としていることで，今まで以上に目的意識を持って学習を進めることを期待している。

（２）指導の構想
①途中評価を生かす指導
本単元に限らず，高学年ではユニットの最後に「小チェック」を，ユニットを３つ進めるごとに「大

チェック(Check your steps)」を行っている。小チェックは，その単元に登場する表現や語句を使ったスピーチや会話の形式をとっており，その単元における児童の習熟度を確かめるために行う。そして大チェックでは，３つのユニットで扱った表現や語句をもう一度活用するような内容を設定する。つまり小チェックでの成果に自信をつけて，もしくは反省点を意識した状態で，２度目のチェックを行うことができる。小チェックでの成果・反省を個人，もしくは全体で共有し，大チェックでの改善を図ることで「できなかったまま終わる」ことを極力減らすような取り組みを行っている。

また，今回はユニット４のすぐ後にユニット７を行う。この２つのユニットは共に「過去形を扱う」という共通点があるため，児童の技能や知識にある程度ベースが残っている状態で学習を進めることができると考える。

②追加していく指導

新しい言語材料や表現を学習したら，以降の授業では必ず同じ内容を使うようにしていく。例えば１時間目に“I went to ＋ 場所” “It was ＋ 形容詞” を学習し，夏休みに自分が行った場所をたくさん挙げさせるような活動を行ったら，２時間目には”Where did you go?”を導入し会話形式のインタビュー活動にする。３時間目には” I ate + 食べ物” を導入しておすすめの飲食店紹介を行うなど，既習の表現に新しい表現を追加していくような指導計画を立てる。このことで繰り返し使用する表現の確実な定着を目指すとともに，表現の幅が広がっていく感覚を児童が持ちやすいようにする。

③ペラペラスピーカーによる補助

単元の始めに，ここで学習する文や単語をまとめた「ペラペラスピーカー」というワークシートを配布する。３・４年生と比べると覚える内容が増えてくるため，視覚的にわかりやすくするように，また児童によってはメモを取るなど，定着の補助的な役割を持つ。さらに後述の「書く」活動を行う際にスペルの参考としても使用する。

５　単元の指導計画

時間	ねらい（★）学習活動（○）	評価（評価方法） 【知】【思】【主】
1	★単元のゴールを知り，学習意欲を高める ★過去形を使って思い出を伝え合うことができる （過去形の動詞　/ 行事の言い方×６） ○週末の出来事を伝え合うスモールトーク ○行事の言い方を使い，その時の出来事を即興で伝え合う活動 ○過去形を使った文のライティングをお互いで見合う活動	（やり取りの様子） （振り返り）
2	★相手の思い出に対して適切なあいづちを打つ練習をする （行事の言い方×６ / “I want to/You can”を使ったあいづち “My best memory is”） ○行事の言い方を使い，「思い出→あいづち」と会話を続ける活動 ○好きな行事を一つ選び，思い出のライティングをお互いで見合う活動	（やり取りの様子） （振り返り）
3	★相手の思い出にあいづちを打つことができる （What is your best memory?）	（やり取りの様子） （振り返り）

	○好きな行事を尋ね合い，相手の話にあいづちを入れながら会話を続ける活動 ○好きな行事や過去形を使った思い出のライティングをお互いで見合う活動	
4	★思い出に残る行事や，その思い出について質問することができる(What did you do?) ○相手の思い出に残る行事や，その思い出についてインタビューする活動 ○好きな行事を一つ選び，思い出のライティングをお互いで見合う活動	（やりとりの様子） （振り返り）
5	★スライドショーを用いてわかりやすい思い出紹介ができる ○思い出の内容に合わせたスライドショーの作成 ○スライドショーを使ってプレゼンテーションの練習	（やり取りの様子） （振り返り）
6	★友達に思い出を尋ね，内容を理解することができる ○友達に思い出を尋ね，内容を理解し，メモを取るインタビュー活動(Unit7 チェック リハーサル)	（やり取りの様子） （振り返り）
7	★先生の思い出について質問し，内容を理解することができる ○先生の思い出についてインタビューし，その内容にあいづちを打ったり，自分の思い出を先生に伝えるテスト (Unit7 小チェック)	【知】自分の思い出について話すことができる （チェックでの聞き取り） 【思】先生の思い出を聞き取り，適切なあいづちを打つことができる。 【主】相手に伝わりやすいように伝えたり，質問したりできる。
8	★読んでくれる相手を意識して手紙を書くことができる ○相手の簡単な話にあいづちを打つ練習 ○別の学校の６年生へ向けた思い出の手紙のライティング	【思】学習した言語材料を使い，英文のルールに従って作文をすることができる（手紙）
9	★相手の手紙を読んで簡単な返信を書くことができる ○別の学校から届いた手紙を読み，内容を理解する活動 ○相手の話題に合わせて、例文を参考に返信を書く活動	【思】相手の話題に合わせて，例文を参考に適切な返信を書くことができる。

６　本時のねらい

（１）ねらい

小学校の思い出を口頭や文章で伝え合う活動を通して，相手に配慮しながら話したり書いたりすることができる。

（２）達成の手立て

本単元では「相手に配慮しながら話したり書いたりすることができる」ということを目標に設定している。そのため，よく使われる表現については自分で使うことができる上に聞いたり読んだりして理解できる力も必要となる。また「あいづち/返信」を扱うことで，自分の発信した内容に相手が反応してくれるという状況を多く作り，コミュニケーションの楽しさを感じさせたい。そのために以下のような取り組みを行う。

①ユニット間の引継ぎ

本単元で扱う「過去形の動詞」は，Unit4”My summer vacation”でも学習済である。そのため，よく使われる表現については話す・聞く・書く・読む学習を Unit4 より進め，慣れさせていく。話す・聞く力は前述の小テストで，書く・読む力は取り組みの様子から見取り，適時指導する。

②ライティング練習シート

その時間に学習した表現を使って，授業の最後にライティングの練習時間を設ける。時間の最後にペアでシートを交換し，英文のルールに従って読みやすい文が欠けているか確認しあう。次回は友達から指摘された箇所を直した文を書いてもよいし，別な話題で作文してもよいものとする。

同じシートに書き足していくことで上達を視覚的に実感できるとともに，読む相手を意識した作文ができるよう指導する。

③あいづち/返信

ウォーミングアップ時に即興性を取り入れたあいづちを重視したスモールトークを行う。話したり書いたりしたまま終わりにしてしまわないために，話題に合わせたあいづちを扱いたい。

６年生は Unit1～3 で”I like～.”や”I don’t like～.”で相手の話に即興のあいづちを入れる練習を重ねている。ここではそれを発展させ”I want to～(自分ならこんなことがしてみたい)”や”You can～(その状況ならこんなこともできるよね)” を使わせたい。これらを扱うことで表現できることを増やし，あいづちや返信を受け取った側の達成感を高めたい。

（３）展開

時間	学習活動 (教師の働きかけと予想される児童の反応)	留意点や準備するもの ■評価（評価方法）
ウォーミングアップ (10)	①Let’s Sing “Four seasons.” ②Small Talk 1. 最初にテレビ画面を使って 2～4 までのやり取りを説明する。 2. 授業中に扱った行事一覧シートをペアごとに用意する。 3. お互いに行事を一つずつ選び，その時の思い出を３文で考える（多少作り話 OK） 4. 席を立ちお互いがその思い出を発表し，相手の話にあいづちを打つ。二人とも終わったら座る。 A : My best memory is school trip. I went to Sado. It was beautiful! B : Nice.(短いあいづち) I want to enjoy sakin-tori. (I want to/You can のあいづち) B : My best memory is…(B も同じく選んだ行事について話す) 5. 二人とも終わったら，同じくカードを１枚ずつ引き，同じ流れを繰り返す。	速度を変えて２度歌う あいづちについては，先に手本を出した後で”Any other ideas?” と問いかけ，アイディアを全体でシェアする。 話題に合わせたあいづちになっているかどうかやり取りの中で見取る。 過去形の動詞は何を使っても良い。「砂金取り」などの目的語にあたる部分は無理に英語にしなくても良い。
導入 (10)	③学習課題の提示 T1 : Now you can “speak” and “listen” to your best memories.	

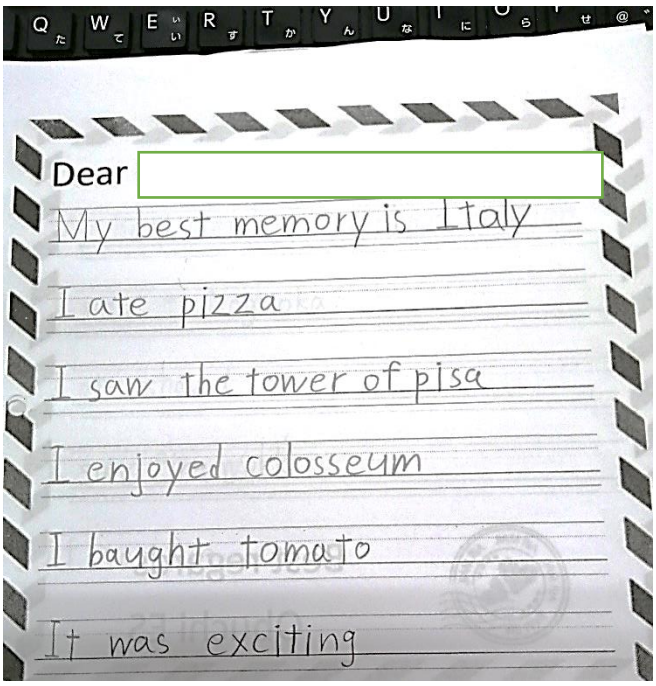
	So next targets are to “write” and “read” your best memories. 学習課題 別の学校の６年生に小学校の思い出を手紙にして送ろう T2 : Please remember, we have some rules to write English…. （“Iwenttotokyo”など読みづらい原稿を板書する） Oh! It’s hard to read! Any ideas? C1 : 隙間を空ける / 先頭は大文字 / 地名も最初は大文字 ４線の使い方 T3 : That’s right （それらを直した状態の”I went to Tokyo.”を板書し，比較させる） さらに「読む相手がいる」ということを意識して，例えばこんなのはどう？ （未習で予測も難しい内容を話し，「伝わらない」感覚を持たせる） T4 : 今まで書き溜めたライティング練習シートを見ながら， 「どんな表現を」「どんな順番で使って」「どう終わらせるのか」考えながら書きましょう。	よく起こるミスを先に提示し，注意を促す。
展開 (20)	④手紙を書く 1. 児童は４人のグループを作り，ライティングを始める。 2. 書き終わった児童から，終わっていない児童のヘルパー役になる。 3. グループの全員が書き終わり，前述のルール通りお互いの原稿が読みやすい状態になっているか確認する。 4. 自分以外の３人と原稿を交換し，相手の原稿を声に出して読んでみる。読み終わった相手から確認のためペラペラスピーカーにサインをもらう。 5. 全員の確認が終わったら４人で教師を呼び，最終チェックを受ける。教師は必要があれば訂正の指示をする。 6. 授業の終わりにカードを回収する。	できるだけ文の中身は変えず，難しい表現を使おうとした場合は，既習の表現で代用できないか考えさせる。 ■手紙の内容を評価
振　り 返り (5)	⑤振り返りシートの記入 C2 : 前よりも読みやすい文が書けるようになったと思う C3 : 言葉と言葉の間をあけると確かに読みやすいことがわかった C4 : 地名の最初が大文字になっていると「場所の話をしているんだな」ということがすぐわかって読みやすかった。	

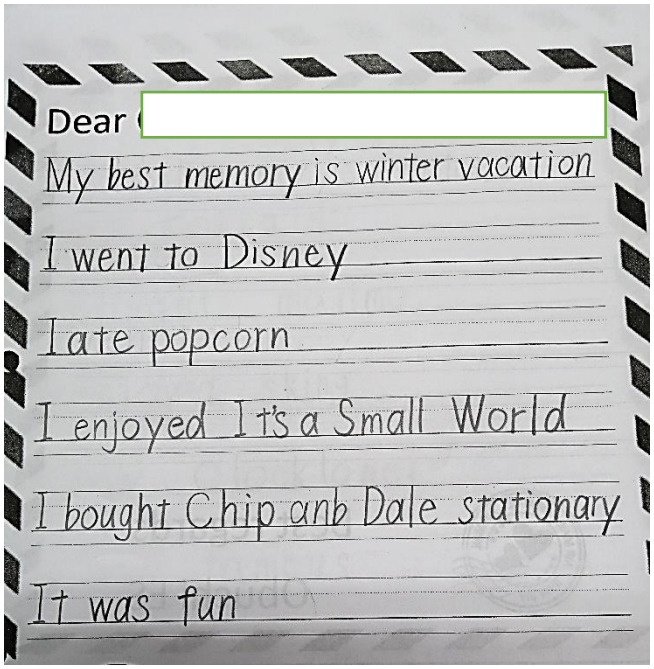
（４）評価

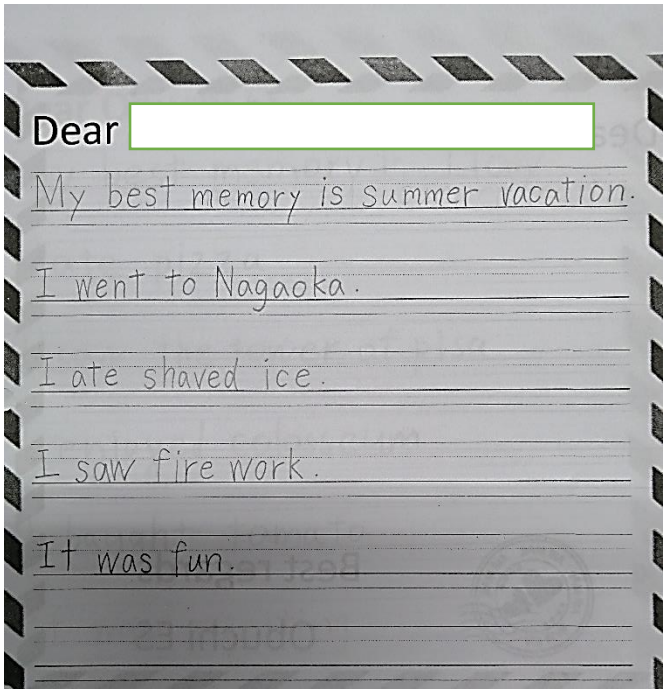
A・・・英語のルールをきちんと守り，既習の表現や単語を活用した読み手に伝わる手紙を書くことができる。

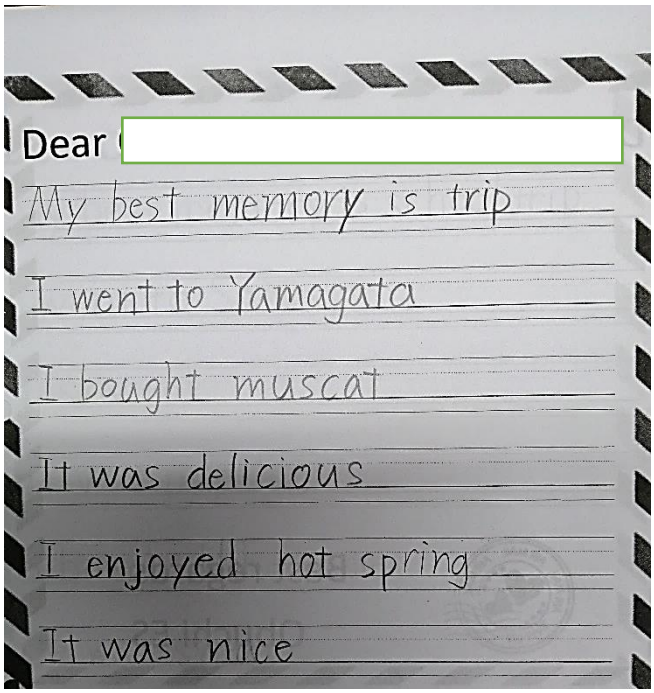
B・・・英語のルールをある程度守り，手紙を書くことができる。

〈A 評価の例〉


Dear
My best memory is Italy
I ate pizza
I saw the tower of pisa
I enjoyed colosseum
I baught tomato
It was exciting


Dear
My best memory is winter vacation
I went to Disney
I ate popcorn
I enjoyed It's a Small World
I bought Chip anb Dale stationary
It was fun


Dear
My best memory is summer vacation.
I went to Nagaoka.
I ate shaved ice.
I saw fire work.
It was fun.


Dear
My best memory is trip
I went to Yamagata
I bought muscat
It was delicious
I enjoyed hot spring
It was nice

（５）板書計画

【黒板】 学習課題 別の学校の６年生に小学校の思い出を手紙にして送ろう ×iwenttotokyo.　　〇I went to Tokyo. I saw Sky tree.（←４線からはみ出して書く） It was built as a symbol of new era. （←未習の表現が多すぎて内容がわからない文を書く） ・先頭、人名、地名の最初の一文字は大文字 ・単語の間は１文字分空ける ・「地面」に注意して！ ★相手に伝わるように！	Today's menu 1. Let's sing 2. Small Talk 3. Writing letters ①グループ全員が終わるまで助け合う ②自分以外の３人と原稿を交換し， お互いが読んでみる（→サイン） ③先生を呼んでチェックを受ける